



先住と移住

第24回日本ナイル・エチオピア学会学術大会 公開シンポジウム

主催： 日本ナイル・エチオピア学会
共催： 藤女子大学
日時： 2015年 4月18日（土） 13：30－17：00
会場： 藤女子大学 北16条キャンパス 新館 6階 651教室（参加費 無料）

- 13:00 開場
13:30 挨拶 重田 真義（京都大学 教授、日本ナイル・エチオピア学会会長）
13:40 基調講演 <構築されるエスニシティと先住民族—アイヌ民族は歴史的にどのように形成されたのか>
加藤 博文（北海道大学 教授）
基調講演 <エチオピアにおけるダイバーシティ（多様性）政策とそれにとまなう政治的安定と開発をめぐって>
マルコス・タクレ・リケ（駐日エチオピア連邦民主共和国大使）
15:00 パネル・ディスカッション
発表 <近世蝦夷地におけるアイヌと和人との関係をめぐって 一和文史料からの検討—>
松本 あづさ（藤女子大学 准教授）
発表 <考古学の視点から考える先住者と移住者—イスラエル／パレスチナと北海道を事例として>
岡田 真弓（北海道大学 特任助教）
発表 <ファラシャの投げかける問い—イスラエルへの「ユダヤ人」エチオピア移民の一側面>
早尾 貴紀（東京経済大学 准教授）
発表 <マイノリティに関するエチオピア社会の取り組みから学べること—ジェンダー・HIV・障害の問題を切り口に>
西 真如（京都大学 特定准教授）
三宅 理一（藤女子大学 教授）
司会
17:00 閉会

加藤 博文
Hirofumi Kato

北海道大学アイヌ先住民研究センター教授、筑波大学大学院博士課程満期退学後、島根県立大学へ、専門はアイヌ考古学



マルコス・タクレ・リケ
Markos Tekle Rike

エチオピア連邦民主共和国大使、アジスアベバ大学にて博士号。アワサ大学講師を経て、駐日大使。専門は政治学



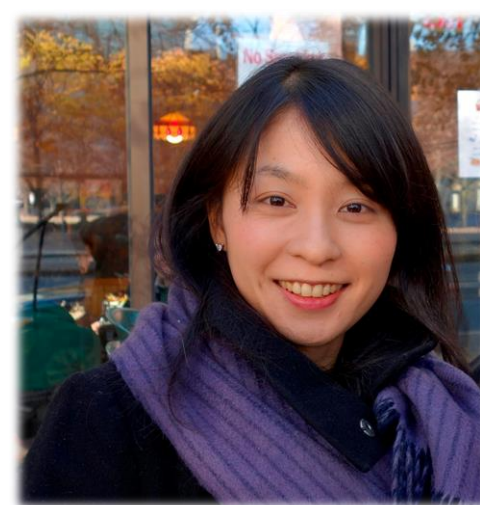
松本 あづさ
Azusa Matsumoto

藤女子大学文学部准教授
北海道大学文学部卒業後、同大学院博士課程修了、専門は近世蝦夷地史



岡田 真弓
Mayumi Okada

北海道大学アイヌ遺骨等返還室特任助教、慶應義塾大学大学院博士課程修了、専門は文化遺産研究・パブリック考古学



早尾 貴紀
Takanori Hayao

東京経済大学経済学部准教授
東北大学大学院博士課程修了
専門はシオニズム、ディアスポラ（民族離散）問題



西 真如
Makoto Nishi

京都大学グローバル生存学ユニット特定准教授、京都大学大学院博士課程満期退学、専門は文化人類学、開発研究



会場： 藤女子大学 北16条キャンパス
〒001-0016 札幌市北区北16条西2丁目
Tel: 011-736-0311
地下鉄南北線 北18条駅から徒歩約5分

連絡先： 日本ナイル・エチオピア学会 第24回学術大会 事務局
e-mail: fuji.ethiopia@gmail.com

